



社団法人 日本理学療法士協会

富山県士会ニュース

平成17年度 4 (通算 100号)

総会員数 298名 (休会26名)

全95施設

2006.3.3 発行人 日本理学療法士協会 富山県士会
〒936 0023 滑川市柳原149-9 富山医療福祉専門学校 理学療法学科内 ☎(076) 476 1716
代表:塚本 彰 編集:赤尾健志 印刷:志貴野苑
士会URL:<http://toyamapt.umin.ne.jp/> 事務局アドレス:toyamapt-office@umin.ac.jp

CONTENTS

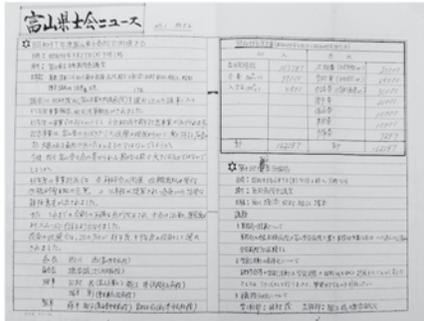
第11回富山県理学療法学会

記

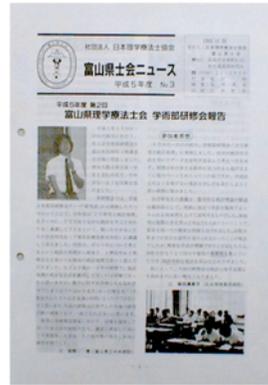
日時 平成18年3月12日(日) 9:30~15:00
会場 ア・ミュールホール
南砺市寺家新屋敷 TEL 0763-22-1400 FAX 0763-22-1470
(ショッピング ア・ミュール 2F)
テーマ 理学療法の社会貢献
会場整理費 2,000円 (学生無料)
内容 大会長講演.特別講演.一般演題

| | | | |
|------------------------|---------|-----------------------|---------|
| おかげさまで通算100号 | 2 ~ 3 | 平成18年度特別会計収支予算(案) ... | 12 |
| 保健事業部研修会..... | 4 | 富山県理学療法士会賛助会員名簿... | 13 |
| 慢性疼痛に対する物理療法..... | 4 | 会員異動状況..... | 13 |
| テーピング研修会に参加して..... | 5 | 事務局インフォメーション | 14 |
| あすなる研修に参加して..... | 5 | 研修管理部からのお知らせ..... | 14 |
| 理事会報告..... | 6 ~ 7 | 職能局の窓口から..... | 14 |
| 士会員の独り言 訪問リハビリ..... | 7 | 情報管理部のお知らせ・編集後記 ... | 14 |
| 富山県士会平成18年度事業計画(案) ... | 8 ~ 9 | 求人広告..... | 15 ~ 20 |
| 平成18年度一般会計収支予算(案) ... | 10 ~ 11 | | |

おかげさまで



←
第1号
昭和57年度
事業報告
(士会結成10周年記念事業等)
昭和58年度
事業計画について

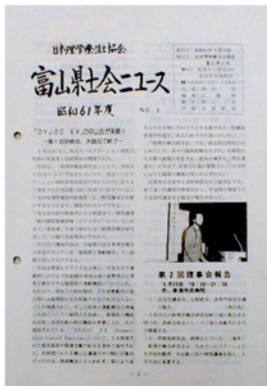
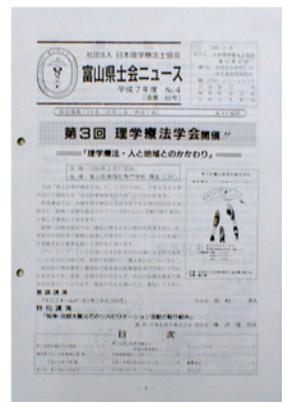


←
第50号
学術部研修会
「PT研究と統計処理」
について
谷 浩明氏 講義他

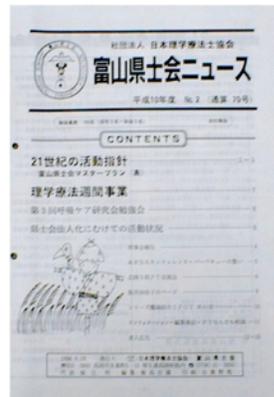
→
第10号
富山県理学療法士集談会
開催報告他



→
第60号
第3回理学療法学会開催
「理学療法・
人と地域のかかわり」
他

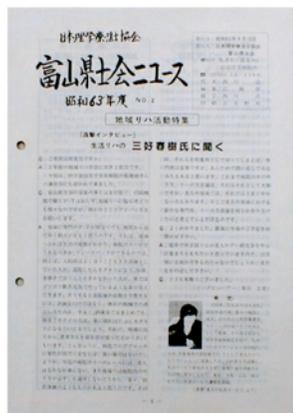


←
第20号
中山彰一氏を招いての
「DYJOC EX」
研修会報告他



←
第70号
21世紀の活動指針,
理学療法週間事業他

→
第30号
地域リハ活動特集
三好春樹氏に
「直撃インタビュー」



→
第80号
教育部研修会,
介護保険とPT他



←
第40号
広報部取材ツアー
「八田ホーム訪問記」
他



←
第90号
理学療法週間事業報告

通算 100号

「士会ニュース今昔」

士会ニュース100号記念

おめでとう。

富山県士会ニュース1号は、ようやく会員が28名になり、士会活動が軌道に乗りだした昭和58年に罫紙に手書きで発行されました。

情報が洪水状態の現在と異なり、当時、会員たちは情報を求め、情報に飢えていた。

これからも、時宜を得た情報提供と会員の心と心を繋ぐ情報交換の場として、皆に親しまれる紙面作りを期待しています。

第1号発行当時県士会長 西川 浩

士会ニュースに寄せて

富山県士会ニュースは、士会長自らの手による1ページのコピー版より始まりました。

その後、協議の上、賛助会員の広告を貰い印刷費を捻出して現在の原形になりました。

当時は会員も少なく、何とかして理学療法士や士会の存在を知ってもらいたいと思っていました。会員も300名近くに増え、相互の交流が必要な今、100号を新たな起点とし、企画や内容の更なる充実を期待します。編集部の皆さん頑張ってください。

第1号発行時広報部長 福江 明

士会ニュースに寄せて

士会ニュース100号を発行できたことは、歴代の士会ニュース担当者の努力の成果です。

士会ニュースの必要性は会員相互の結束が保てる事や士会活動参加から足が遠のいている会員への情報発信となります。

今後のニュース内容が記録と予告を主眼に置きながらも、連載ものやおもしろい情報、地域ブロック別の情報などがあれば親しみやすくなるのではないかと思います。これからも士会ニュースを楽しく、無理せず、継続して発行して頂けるようお願い致します。

現県士会長 塚本 彰

士会ニュースNo.100 記念によせて

今から7年前、以前の広報部（現情報管理部）部長となり士会ニュースを作るようになりました。毎年、年4回の士会ニュースを作成し、今回士会ニュースNo.100を発行することができました。これもみな、富山県士会員皆様のおかげであると感謝しています。ありがとうございました。士会ニュースは、ただ情報管理部員が取材して作るわけではありません。県士会員の投稿があってこそ、発行できるものです。これからも士会ニュース継続のため、積極的なご意見、投稿等お願いします。

現情報管理部長 赤尾 健志

保健事業部研修会

平成17年12月4日(日)サンシップとやま福祉ホールにて「介護予防研修会」が開催されました。参加者は161名で、PTをはじめOTや保健師、看護師など様々な職種の方が参加され、関心の高さがうかがえました。

午前中は、富山県厚生部次長 椎葉茂樹先生より「介護予防にどう取り組むか」というテーマで、平成18年度に改正される介護保険制度について大まかな流れから最新情報まで分かりやすく講演していただきました。

午後からは実際に現場で活動しておられる、富山市介護保険課主査 木林勉先生より「運動器の機能向上について」、8020プロ企画歯科衛生士の精田紀代美先生より「口腔機能の向上について」講演していただきました。具体的な事業の展開の仕方から実技まで、それぞれの視点で詳しく説明していただきました。

先行きが不透明な部分の多い介護保険制度の改正について、このように県内で活躍されている先生方の講義を聞くことができ大変有意義な研修会となりました。今後、他職種が互いに連携をとりながら、より良いサービスを提供していかなければならないなあと感じました。

黒部市民病院 小倉 久美子



慢性疼痛に対する物理療法

平成17年12月9日(金)に富山医療福祉専門学校にて成和病院の宮原謙一郎先生を講師に、研究会主催「慢性疼痛に対する物理療法」を行いました。参加人数は、20名(P T 18名、O T 1名、学生1名)でした。研修会は、「疼痛」そのもののメカニズムを紹介したうえで、慢性疼痛に対して当研究会がこれまで取り組んできた研究内容を織り交ぜながら講義をするといったものでした。なかでも興味深かったのは、慢性疼痛はその発生機序によりより 侵害受容性疼痛、

神経因性疼痛(ニューロパシクペイン)の大きく2つに分類され、それぞれに適したアプローチをしなければならないというものであった。このことは、わたしたち理学療法士が普段、何気なく行なっている「疼痛」治療としての物理療法に提言を示すものであったと思います。講義後には、何名もの先生方から質問を受けるなど今回の研修会が有意義であったことが伺われました。

私的ではありますが、現時点での理学療法分野において物理療法に対する意識は高いとは思えません。原因には、診療報酬の問題や人的環境の問題などが考えられます。しかし、理学療法にエビデンスが求められている中で、物理療法はその役割を十分担っていけるだけの治療であると思いますので、運動療法との併用として積極的に取り入れていただきたいと思えます。尚、今後も当研究会では、臨床試験を含め客観的データの収集を行ない、科学的検証を行なっていきたいと考えております。興味のある先生方のご連絡ください。宜しくお願いします。

富山県高志リハビリテーション病院 富山県士会学術部物理療法研究会代表 石黒 幸治

テーピング研修会に参加して

平成17年12月15日に富山医療福祉専門学校でテーピング講習会（スポーツ系研究会）がありました。私自身、地元のバレーボールチームに所属しており、試合や練習で突き指や捻挫等に遭遇する機会が少なくありません。しかし、無知な私ができる事といったらコールドスプレーを手渡す事ぐらい…。てきぱきとテーピングで固定するコーチや、試合日早朝から接骨院に行きテーピングをしてくるチームメイトの姿を見る度に、自分ができる事...と常々感じていました。しかし、テーピングの本を開くと、テープの迷路のようでちんぷんかんぷん状態。そんな時、この講習会が開かれる事を知り、参加する事にしました。講師は高岡市民病院の高畑芳信先生で、参加者の半数が学生という事もあり、分かりやすい説明をして下さるし、気軽に質問出来る環境のため、とても勉強になりました。今回は1回目の講習で、テーピングの基本を学びましたが、次回からは「巻き方編」と何回か続くとの事です。私の目標は、足関節の基本的なテーピングをマスターする事。自信がつくまでは、最近痛みだした自分の左足関節にテーピングを巻きプレーをし、効果を評価しながら試行錯誤していきたいと思います。また、テーピングは、スポーツ関係ばかりでなく、他疾患の訓練場面でも使えるので、興味のある方は講習会の詳しい日時・内容をホームページでチェックし、是非参加してみてください。

誠友病院 福島 友恵

あすなろ研修に参加して

11月27日、卒後教育部主催のあすなろ研修に参加しました。講演「PTに必要な情報管理」では、講師の増山智先生（富山県立中央病院）から、個人情報を含めた医療情報管理の重要性について学ぶことができました。パソコンなどに保存されている情報を盗み取られるという例が挙げられ、情報をどのように管理するのか、管理をしていかなければならない立場としてとても考えさせられる講演でした。管理職でなくても、いちPTとして医療情報を管理していくことは、重要な業務であると再認識させられました。

講演「PTに求められる連携」では、講師の田村茂先生（地域リハビリ支援室・タムラ）から、チームアプローチの基礎である連携について学ぶことができました。講演では、連携をしていく上での阻害因子として、職種に対する不理解、コミュニケーションの欠如などがあり、支援者間の信頼関係が重要視されていました。お互いに話しやすい環境や状況を作っていくことが連携をする上で大切であると感じました。

あすなろカンファレンスでは発表者個々の疑問点や問題点について自分なりに考える事ができ、また、複数の先生方の意見を聴くことができたので、大変勉強になりました。

富山県高志リハビリテーション病院 渡辺 泉



平成17年度 第6回 理事会報告

日時：平成17年11月24日(木)
場所：富山市民病院リハビリテーション室
出席者：塚本 田村 滝田 島倉 寺田
政井 森山 川合 城戸
永山(書記)

< 報告事項 >

事務局報告事項：P T協会関連、各都道府県士会関連、関連団体関連などの郵送物及び会員移動について報告。

第3回ケーススタディ報告(骨関節疾患研究会)：平成17年10月24日に開催。内容は2症例について3グループに分かれての討論会となった。

第3回研修会報告(生活支援系研究会)：平成17年10月16日に開催。テーマは「補装具と自立支援」～制度・作製・最近の動向～として、佐野健一氏(富山県義肢製作所)を招きご講演頂いた。

第14回病院・施設対抗ボウリング大会報告(福利厚生部)：平成17年10月29日に開催。懇親会も開かれ、県士会会員相互の交流を深めた。

第5回循環器講習会(循環器研究会)：平成17年11月3日に開催。「循環器障害をとらえる」をテーマに、銭谷嘉純氏(厚生連滑川病院)らを招き循環器障害患者への具体的な対応や心電図についてご講演頂いた。

第4回介護老人福祉施設リハビリテーション研究会(福祉事業部)：平成17年11月17日に開催。「摂食・嚥下障害について」をテーマに行った。

その他：国民皆保険制度を守る署名運動等。

< 検討事項 >

1. 小研究会計画(中枢神経系研究会)：平成17年11月24日に開催予定。講師に中川仁氏(山田温泉病院)をお招きして、「ヒューマンムーブメント」をテーマにご講演頂く。
2. 管理者(理学療法代表者)会議計画：平成17年11月29日開催予定。一般から「県内のリハビリを受けられる施設一覧表」の作成についての要望などあったことから、

今後の医療・福祉の連携について検討事項。

3. 介護予防研修計画(保健事業部)：平成17年12月4日に開催予定。
4. 第4回研修会計画(物理療法研究会)：平成17年12月9日に開催予定。講師は宮原謙一郎氏(成和病院)、「痛みに対する物理療法」をテーマにご講演を頂く予定。

平成17年度 第7回 理事会報告

日時：平成17年12月27日(火)
場所：富山市民病院リハビリテーション室
出席者：塚本 田村 滝田 島倉 寺田
堀尾 政井 森山 川合 城戸
宮原 温盛(書記)

< 報告事項 >

事務局報告事項：P T協会関連、各都道府県士会関連、関連団体関連などの郵送物及び会員移動について報告。

いきいきとやま健康と長寿の祭典報告：平成17年10月6、7日に富山県民会館にて開催された。部員6名参加し、相談件数は7件あった。

介護予防研修会報告(保険事業部)：平成17年12月4日、サンシップとやまにて開催。参加者は会員52名、会員外108名、学生1名でスタッフを除いて161名の参加があった。保健福祉関係者のニーズに沿ったテーマであった。

< 検討事項 >

1. 平成18年新年会計画(福利厚生部)：平成18年1月14日に開催予定。特に新入会員の参加を呼びかける。
2. 運動器の機能向上プログラム講習会計画(保険事業部)：平成18年2月25日、ボルファートとやまにて開催予定。富山県作業療法士会、日本健康指導士会、北陸フィットネスクラブ協会と共催にて行う。運動器機能向上プログラムの実際をその評価も含めた講習会となる。予算は予備費から支出することが了承された。
3. 平成18年度事業計画案の検討：会長から提出された活動指針を確認し、各部から提出された事業計画案を元に年度事業の確認、スケジュールの調整が行われた。

4. 平成18年度収支予算案の検討：予算の全体については、事業の修正と合わせて拡大役員会までに検討。
5. その他：第11回富山県理学療法学会準備状況報告、富山県介護予防研修会について士会員に案内する。

平成17年度 第8回

理事会(第2回拡大役員会)報告

日時：平成18年1月21日(土)

場所：富山医療福祉専門学校

出席者：塚本 田村 堀尾 島倉 森山
 滝田 川合 城戸 政井 寺田
 金森 杉谷 酒井 中屋 森田
 増山 飯島 廣川 蟹谷 菱田
 柴田 徳田 赤尾 宮原 (書記)

< 報告事項 >

事務局報告事項：PT協会関連、各都道府県士会関連、関連団体関連などの郵送物及び会員移動について報告。

PT協会会員証について：今後会員数の増加に伴い、会費の事務処理が困難となっている。役員をはじめ会員の皆様に会員証を取得していただき、事務処理の効率化を図るため是非ご協力いただきたい。

< 検討事項 >

1. 平成18年度事業計画、スケジュールについて：次年度より年間スケジュールとして、各研修会などの開催日を明確化した。呼吸ケア・循環器研究会共同研修会や北陸三県理学療法士交流会など除き、概ねスケジュールを決めることが出来た。事業計画については、学術資料部ではメディカルオンラインで「みんなの理学療法」を閲覧可能にすることや、各部調査における調査部への依頼、業務推進部においてはリハビリノートの推進などが挙げられた。
2. 平成18年度予算案について：印刷費や部数などの見直しがあり、再度予算案を修正する。また予算状況から、1回あたりの活動・会議費増加の意見も挙がり、理事会での検討課題となった。

士会員の独り言 「訪問リハビリ」

南砺市井波訪問看護ステーション 竹中 愛美

私は訪問リハビリを行なっている。まだ理学療法士として3年目のペーペーで、訪問リハビリテーション部門に配属になってからは、やっと2年目が終わろうとしているところである。この2年で業務をこなす事には慣れてきたが、リハビリ内容には戸惑いがいくつもある。例えば、限られた訓練道具でリハビリを行うことや、利用者や家族への生活指導・介護指導・環境整備などは長年の生活習慣が優位となって、こちらの指導や提案が受け入れられにくかったり、理学療法だけでなく嚥下機能も見ていかなければならなかったりなど…。また、よく言われる「在宅でのいきがいをを見つける」とか「在宅らしい訪問リハビリの提供」というものに結びつくまでにも、いつも頭を悩ませられる。まだまだ自分の引き出しの少なさ&空っぽさに開けてみてガッカリするばかりである。

それでも訪問リハビリには楽しみもある。移動中の運転や屋外で訓練をするようになって、病院勤務の頃より四季を感じるようになった。春は利用者を花見に連れ出したり、陽気な天気で眠気に襲われたり、夏は蒸し地獄のような車で美白を守るため紫外線と格闘し、秋は野菜の収穫を利用者と喜び合ったり、歩行訓練で周りの紅葉を楽しんだり、冬は利用者から編み物を教わったり、雪かき仕事は業務の一環。吹雪で道が見えないとか寒くて嫌だなんて言っていられない！でも、もともと山ツ子の私には雪とじゃれるのは結構楽しかったりする(今年の雪の量にはさすがにぐったりだが…)。

その他に在宅という特効薬のパワーにもびっくりさせられる。入院中に元気のなかった人が自宅に帰った途端に笑顔が見えるとか、活動的になったりとか、不穏症状が治まるとか。きっと私達がどこかへ旅行に行っても結局自宅が一番落ち着くのと一緒の事なのではないかと思う。また家族の影響力もすごいものを感じる。家族の為に何かを作るとか書くといったリハ企画はいつも大成功である。

今後も利用者やその家族などからいろんなことを学んで自分の引き出しの中身を詰め込んでいきたいと思う。

富山県理学療法士会 平成18年度事業計画(案)

< 学術局 >

[専門領域研究部]

1. 専門領域研究部会
 - (1) 専門領域研究部会(4月)
 - (2) 研究会連絡会議(3回開催)
2. 研究会活動
 - (1) 循環器研究会
 - ①研究活動
 - ②第6回循環器講習会開催
 - a) 日時:11月初旬 10:00~16:00
 - b) テーマ:「循環器障害を捉える」
 - c) 講師: 銭谷 嘉純 氏(厚生連滑川病院)
田形 学 氏(県立中央病院)
大崎 泰信 氏(厚生連高岡病院)
梅野 晃 氏(高志リハビリテーション病院)
 - ③研修会開催(呼吸ケア研究会との共同企画)
 - a) 日時:未定
 - b) テーマ:未定
 - c) 講師:高橋 哲也 氏(群馬県立心臓血管センター)
 - d) 場所:富山医療福祉専門学校
 - (2) 呼吸ケア研究会
 - ①研究活動
 - ②第6回富山県呼吸理学療法セミナー開催
 - a) 日時:2月24日(土)14:00~17:00
 - b) テーマ:「慢性呼吸不全の理学療法」
 - c) 講師:嶋先 晃 氏(砺波総合病院)
 - d) 場所:富山市民病院
 - ③研修会開催(循環器研究会との共同企画)
※循環器研究会「c.研修会開催」同様
 - (3) 生活支援系研究会
 - ①研究活動
 - ②研修会開催
 - a) 日時:10月22日(日)9:00~15:00
 - b) テーマ:「訪問リハビリテーションについて」
 - c) 講師:松井 一人 氏(有)ほっとリハビリシステムズ代表)
 - d) 場所:サンシップとやま
 - (4) 中枢神経系研究会
 - ①研究活動
 - ②ケース・スタディー開催
 - a) 日時:9月9日(土)14:00~17:00
 - b) テーマ:「片麻痺の評価と治療」
 - c) 講師:仲川 仁 氏(山田温泉病院)
 - d) 場所:八尾総合病院
 - ③小研修会開催
 - a) 日時:11月30日(木)・1月25日(木)
19:00~21:00
 - b) テーマ:「ADL動作」
 - c) 場所:いま泉病院
 - ④研修会企画(平成19年度)
 - (5) 骨関節疾患研究会
 - ①研究活動
 - ②ケース・スタディー開催
 - a) 日時:9月4日(月)・2月5日(月) 19:00~21:00
 - b) 場所:富山協立病院
 - ③研修会企画(平成19年度)
 - (6) 物理療法研究会
 - ①研究活動
 - ②研修会開催(基礎系研究会との共同企画)
 - a) 日時:6月4日(日)10:00~15:00
 - b) テーマ:「根拠に基づくPNFの実践」
 - c) 講師:柳澤 健 氏(首都大学東京 健康福祉学部理学

療学科 大学院健康科学研究科 教授)

- d) 場所:富山医療福祉専門学校
- ③研修会企画(平成19年度)
- (7) スポーツ系研究会
 - ①研究活動
 - ②研修会開催
 - a) 日時:3月(日は未定) 9:00~15:00
 - b) テーマ:「スポーツリハ(トレーナー活動)の進め方」
 - c) 講師:未定
 - d) 場所:富山医療福祉専門学校
 - ③小研修会開催
 - a) 日時:毎月第3木曜日 19:00~21:00
 - b) テーマ:1. マッサージ 2. テーピング
3. モビリゼーション
4. ストレッチ
5. アスレチックリハビリテーション
 - c) 講師:スポーツ系研究会企画委員
 - d) 場所:富山医療福祉専門学校
 - ④研修会企画(平成19年度)
- (8) 教育管理系研究会
 - ①運営会議
 - ②研修会開催(PT協会教育部共催)
 - a) 日時:10月20日(金)・21日(土) 9:00~17:00
 - b) テーマ:「リハビリテーション部門のマネージメントー今、求められるマネージメント」
 - c) 講師:中屋 久長 氏(高知リハビリテーション学院)
森本 栄 氏(日本健康機構株式会社)
山崎 裕司 氏(高知リハビリテーション学院)
伊藤 隆夫 氏(初台リハビリテーション病院)
鹿内 清三 氏
(東京海上日動メディカルサービス株式会社)
 - ③研修会企画(平成19年度)
- (9) 理学療法基礎系研究会
 - ①研究活動
 - ②研修会開催(物理療法研究会との共同企画)
※物理療法研究会「b.研修会開催」同様
 - ③小研修会開催
 - a) 日時:8月20日(日)10:00~12:00
 - b) テーマ:「理学療法における運動学習」
 - c) 講師:未定
 - d) 場所:富山医療福祉専門学校

3. 学会発表等の支援活動

[学術資料部]

1. 学術誌「みんなの理学療法」企画、編集・発行
2. 学術資料掲載についての検討
3. 学術資料の整理および貸し出し・閲覧

< 教育局 >

[研修管理部]

1. 研修管理
 - (1) 新人教育、生涯学習の推進、啓発
 - (2) 受講証の発行
2. 教育・研修計画発行
 - (1) 新人教育プログラム単位認定
 - (2) 平成19年度教育・研修計画の発行

[卒後教育部]

1. 研修事業
 - (1) 卒後教育研修会開催(卒前教育部共同企画)
 - ①日時:6月25日(日)
 - ②テーマ:
 - a. 「生涯学習」
 - b. 「理学療法の教育方法論」

- ③講師：
a. 未定
b. 酒井 吉仁 氏（富山医療福祉専門学校）

④場所：富山医療福祉専門学校

(2) あすなる研修開催

①日時：11月26日（日）

②テーマ：

- a. 「医療法・理学療法士法」
b. 「理学療法における研究方法論」
c. あすなるカンファレンス

③講師：

- a. 未定
b. 石黒 幸治 氏（高志リハビリテーション病院）

④場所：富山県立中央病院

2. 調査活動

- (1) 調査内容：理学療法士に必要な教育
(2) 調査目的：新人教育プログラム履修後の教育プログラムの立案に役立てる。
(3) 調査方法：県士会員へのアンケート調査（調査部依頼）

[卒前教育部]

1. 臨床実習教育研修会開催（PT協会教育部共催）
(1) 日時：7月29日（土）・30日（日）
(2) 場所：サンシップ
2. 理学療法教育研修会開催（卒後教育部共同企画：6月25日）

< 職能局 >

[業務推進部]

1. 研修会開催：5月21日（日）
2. 管理者会議開催：12月6日（水）
3. 機関紙「あんた知っとけえ」の発行（年2回）
4. リハビリノートのアンケート調査及び見直し（調査部依頼）

[医療保険部]

1. 医療保険制度に関する情報収集と発信
2. 医療保険制度等に関する小研修会開催
3. 業務推進部の企画する研修会の準備、運営
4. 医療保険制度に関する相談窓口の設置

[介護保険部]

1. 介護保険制度に関わる情報の収集・整理・発信
2. 介護保険制度等に関する小研修会の開催
3. 業務推進部の企画する研修会の準備、運営
4. 介護保険制度の関連サービス事業者からの相談対応

< 公益事業局 >

[福祉事業部]

1. 「第5回介護老人福祉施設リハビリテーション研修会」企画と実施
(1) 日時：11月15日（水）
(2) テーマ：「摂食と嚥下障害について」
(3) 場所：サンシップ
2. ノーマライゼーション推進事業の企画と実施
(1) 「第25回富山市民ふれあい広場」参加
(2) 日時：9月中旬
(3) 場所：富山駅北親水広場
(4) その他、同様のイベントに参加
3. 講師派遣事業
(1) 小研修会開催（転倒予防、介護方法、家庭でのリハビリなど）
(2) 「寝たきり老人ゼロキャラバン」記念誌発行
(3) 市町村関連団体や各種団体の要請に応じ対応

[保健事業部]

1. 研修会開催
(1) 日時：11月19日（日）
(2) テーマ：「介護予防研修会」運動器機能向上について実践報告
2. 介護予防事業に関する情報収集・発信
3. 身障・各種スポーツ活動支援
(1) 各種競技団体からのPT要請対応・窓口
(2) 各種スポーツの準備などを含めた支援・援助

[広報部]

1. 理学療法週間事業の企画と実施
(1) 日時：7月23日（日） 10:00～15:00
(2) 場所：イオン高岡ショッピングセンター セントラルコート
2. 「いきいきとやま・第19回健康と長寿の祭典」の出展企画・実施
(1) 日時：11月8日（水）・9日（木）
(2) 場所：富山県民会館
3. 富山県士会広報誌 No.1 発行と No.2 企画・作成

[調査部]

1. 士会活動に関する調査（福利厚生部、卒後教育研修部、業務推進部から依頼）ならびに資料の管理
2. 他士会の動向、定点調査等

< 事務局 >

[事務部]

1. 事務局の管理
2. 理事会・役員会の運営
3. 各種定型書類整理
4. 郵便物郵送・管理
5. 士会員の異動、登録などの管理
6. 士会員の慶弔に関する業務
7. 渉外活動、連絡調整

[財務部]

1. 財産・財務管理
2. 会員証による会費徴収の導入推進

[組織部]

1. ブロック化に関すること
2. 法人化に関すること

[福利厚生部]

1. 新人・転入会員歓迎会：6月24日（土）
2. 県士会員交流会（納涼祭）：7～8月（研修会等と同日開催を提案）
3. 北陸三県理学療法士交流会（石川県士会担当）：日時未定
4. ボーリング大会&新年会：1月13日（土）
5. 人的資源の調査（調査部依頼）

[情報管理部]

1. 士会ニュース発行（6月15日、9月15日、12月15日、3月15日）
2. 年報発行（6月15日）
3. 士会ニュース及び年報の発送
4. 平成18年度士会活動の記録を依頼し、士会ニュースに掲載する
5. 士会ホームページの企画・管理・運営

< 委員会 >

[選挙管理委員会]

- ・士会役員選挙の運営と実施

[表彰審査委員会]

- ・表彰に関する事項の検討

< 特別事業 >

[富山県理学療法学会]

- ・第12回富山県理学療法学会開催：3月11日（日）
大会長：大野 愛美 氏（高志リハビリテーション病院）

平成18年度一般会計収支予算(案)

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

収入の部

単位：円

| 科目 | 細目 | 予算 | 前年度予算 | 増減 | 備考 |
|-----------|-------------|--|-----------|-----------|---|
| 会費収入 | | 3,447,000 | 3,115,000 | 332,000 | |
| | 正会員会費 | 2,952,000 | 2,745,000 | 207,000 | 会費：9,000×298名 新入会員：9,000×30名 |
| | 入会金 | 75,000 | 70,000 | 5,000 | 2,500×30名 |
| | 賛助会員会費 | 420,000 | 300,000 | 120,000 | 賛助会費：30,000×14施設 |
| 事業収入 | | 4,194,000 | 3,809,000 | 385,000 | |
| 学術局 | 専門領域研究部事業 | 1,600,000 | 1,365,000 | 235,000 | 研修・講習会参加費：1,400,000 共催金：200,000 |
| | 学術資料部事業 | 125,000 | 45,000 | 80,000 | 出版広告掲載費：125,000 |
| 教育局 | 卒前教育部事業 | 775,000 | 640,000 | 135,000 | 臨床実習教育研修会参加費：240,000 協賛金：100,000 |
| | 卒後教育部事業 | | | | 助成金：300,000 |
| | 研修管理部事業 | 卒後教育研修会参加費：35,000 あすなろ研修参加費：100,000 | | | |
| 職能局 | 業務推進部事業 | 40,000 | 30,000 | 10,000 | 研修会参加費：40,000 |
| | 医療保険部事業 | | | | |
| | 介護保険部事業 | | | | |
| 公益事業局 | 広報部事業 | 400,000 | 520,000 | 120,000 | 理学療法週間事業協会助成金：100,000 |
| | 福祉事業部事業 | | | | リハビリテーション研修会事業参加費：200,000 |
| | 保健事業部事業 | | | | 研修会参加費：100,000 |
| 特別事業 | 富山県理学療法学会大会 | 200,000 | 200,000 | 0 | 参加費：2,000×100名 |
| 事務局 | 福利厚生部事業 | 490,000 | 445,000 | 45,000 | 北陸三県交流会：0 県士会交流会：180,000 新人歓迎会：45,000 新年会費：265,000 |
| | 情報管理部事業 | 564,000 | 564,000 | | 士会ニュース広告料：564,000 |
| 助成金 | | 150,000 | 130,000 | 20,000 | I T：50,000 新人教育：100,000 |
| 雑収入 | 利息 | 1,000 | 1,000 | 0 | |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期収入合計(A) | | 7,792,000 | 7,055,000 | 737,000 | |
| 前期繰越収支差額 | | 1,200,000 | 900,000 | 300,000 | |
| 収入合計(B) | | 8,992,000 | 7,955,000 | 1,037,000 | |

(注) : 収入減

平成18年度一般会計収支予算(案)

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

支出の部

単位：円

| 科目 | 細目 | 予算 | 前年度予算 | 増減 | 備考 |
|---------------|--------------------|----------------|------------|----------------|---|
| 学術局事業費 | | 2,520,300 | 1,981,500 | 538,800 | |
| | 専門領域研究部 | 2,017,800 | 1,541,500 | 476,300 | 部会会議費：46,000 研究会事業費：1,971,800 |
| | 学術資料部 | 502,500 | 440,000 | 62,500 | 印刷費：400,000 通信費：60,000 会議費：22,500 謝礼：20,000 |
| 教育局事業費 | | 889,000 | 673,800 | 215,200 | |
| | 卒前教育部 | | | | 臨床実習教育研修会：664,000 あすなる研修：90,000 卒後教育研修会：58,000 |
| | 卒後教育部 研修管理部 | 889,000 | 673,800 | 215,200 | 会議費：7,000 通信費：18,000 印刷費：50,000 消耗品：2,000 |
| 職能局事業費 | | 285,000 | 158,000 | 127,000 | |
| | 業務推進部 | 165,000 | | | 会議費：75,000 印刷費：48,000 研修会事業費：42,000 |
| | 医療保険部 | 60,000 | 158,000 | 127,000 | 会議費：20,000 通信費：30,000 消耗品：10,000 |
| | 介護保険部 | 60,000 | | | 消耗品：10,000 会議費：20,000 通信費：30,000 |
| 公益事業局 事業費 | | 1,145,000 | 700,300 | 444,700 | |
| | 福祉事業部 | 417,000 | | | 会議費：50,000 記念誌印刷費：200,000 ノーマライゼーション推進事業：17,000 リハビリテーション研修会事業：150,000 |
| | 保健事業部 | 239,000 | 700,300 | 444,700 | 会議費：3,000 活動費：30,000 消耗品：15,000 (身障スポーツ) 会議費：75,000 活動費：15,000 通信費：16,000 印刷費：20,000 講師謝礼金：40,000 会場費：15,000 消耗品：10,000 |
| | 広報部 | 388,000 | | | 理学療法週間事業費：165,000 会議費：50,000 健康と長寿の祭典事業費：23,000 広報誌：150,000 |
| | 調査部 | 101,000 | | | 会議費：21,000 通信費：60,000 定点調査費：20,000 |
| 特別事業費 | 富山県理学療法 学術大会 | 440,000 | 400,000 | 40,000 | 講師謝礼金：60,000 会場費：80,000 交通・宿泊費：50,000 準備運営費：90,000 印刷費：80,000 通信費：80,000 |
| 事務局管理費 | | 2,664,880 | 2,383,288 | 281,592 | |
| | 事務部 | | | | 会議費：100,000 通信費：250,000 活動費振込料：5,000 役員活動費：250,000 |
| | 財務部 | 925,000 | 713,208 | 211,792 | 消耗品費：300,000 公衆衛生学会協賛金：20,000 |
| | 情報管理部 | 945,680 | 948,680 | 3,000 | 印刷費：700,000 通信費：190,000 消耗品費：10,000 会議費：44,000 雑費：1,680 |
| | 組織部 | 12,500 | 10,500 | 2,000 | 会議費：12,500 (500円×5名×5回) |
| | 福利厚生部 | 771,000 | 707,000 | 64,000 | 新人歓迎会費：70,000 会議費：50,000 北陸三県交流会費：117,000 新年会費：301,500 県士会交流会費：232,500 |
| | 表彰審査委員会 選挙管理委員会 | 5,700 5,000 | 3,900 0 | 1,800 5,000 | 通信費：1,200 会議費：4,500 会議費：5,000 |
| 繰入金支出 | 特別会計繰入金 | 600,000 | 900,000 | 300,000 | 学術大会繰入金：300,000 記念事業繰入金：300,000 |
| 予備費 | | 447,820 | 758,112 | 310,292 | |
| 当期支出合計(C) | | 8,992,000 | 7,955,000 | 1,037,000 | |
| 当期収支差額(A-C) | | -1,200,000 | -900,000 | 300,000 | |
| 次期繰越収支差額(B-C) | | 0 | 0 | 0 | |

(注) : 支出減

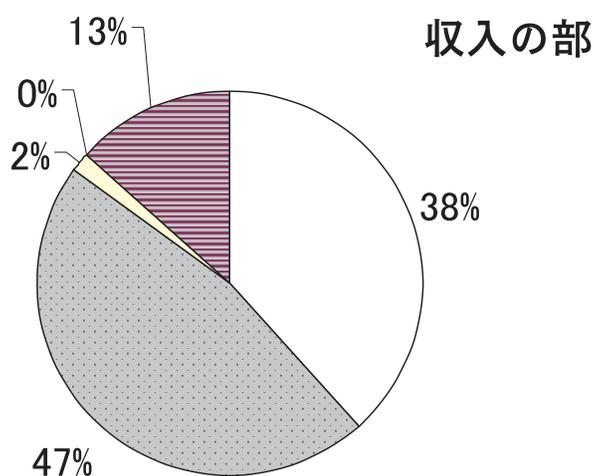
平成18年度特別会計収支予算(案)

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

特別会計積立金概要

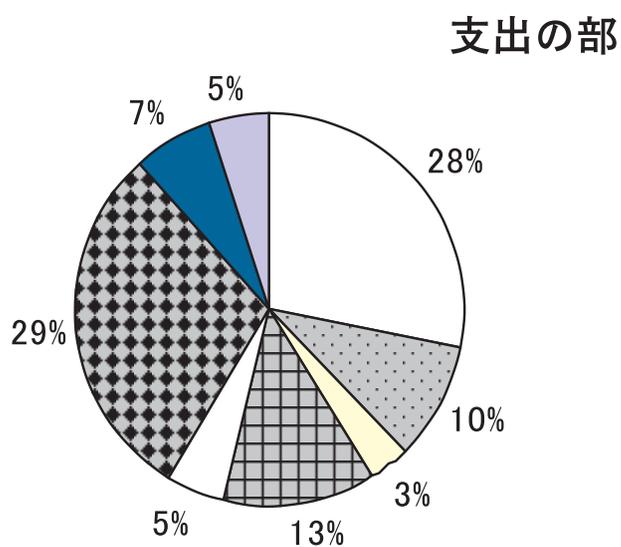
単位：円

| 科目 | 細目 | 繰越金 | 収入 | 支出 | 残高 | 備考 |
|------|------------------|-----------|---------|----|-----------|----|
| 特別会計 | (1)東海北陸理学療法学会積立金 | 300,005 | 300,000 | 0 | 600,005 | |
| | (2)記念事業積立金 | 1,200,005 | 300,000 | 0 | 1,500,005 | |
| 総合計 | | 1,500,010 | 600,000 | 0 | 2,100,010 | |



| | |
|--------|-----------|
| 会費収入 | 3,447,000 |
| 事業収入 | 4,194,000 |
| 助成金 | 150,000 |
| 雑収入 | 1,000 |
| 前期繰越収入 | 1,200,000 |
| 合計 | 8,992,000 |

会費収入
事業収入
助成金
雑収入
前期繰越収入



| | |
|----------|-----------|
| 学術局事業費 | 2,520,300 |
| 教育局事業費 | 889,000 |
| 職能局事業費 | 285,000 |
| 公益事務局事業費 | 1,145,000 |
| 特別事業費 | 440,000 |
| 事務局管理費 | 2,664,880 |
| 繰入金支出 | 600,000 |
| 予備費 | 447,820 |
| 合計 | 8,992,000 |

学術局事業
教育局事業費
職能局事業費
公益事業局事業費
特別事業費
事務局管理費
繰入金支出
予備費

事務局インフォメーション

☆会員証の申請について☆

No.3でもご案内いたしましたが、(社)日本理学療法士協会では、クレジット機能等付帯する多機能型会員証(カード)を発行します。目的は協会事務処理の簡素・効率化、福利厚生環境の充実ということで、協会・士会会費が指定口座より引き落とされます。申請された士会員には既に手元に届いていると思います。詳細についてはPT協会HPにてご確認ください。

富山県理学療法士会では、平成18年度からの会費徴収に関しては、この会員証カード利用による引き落としと現金振込みの2通りの方法となります。会員の皆様には何かとお手数おかけいたしますが、可能な限り、申請いただきますようよろしくお願いいたします。引き落としの設定については個別に可能です。ご不明な点は事務局へお問い合わせください。



研修管理部からのお知らせ

- 新人教育プログラム対象者で、協会主催または後援等の冠がある学会・研修会・講習会に参加された方は、その学会等を新人教育プログラム対応研修会として読み替える事ができます。参加を証明する『受講証明書』あるいは『領収書』等を士会学会や研修会時に、生涯学習手帳と一緒に提出して下さい。単位認定を致します。但し、どの単位に対応するかは委員会の方で決めさせていただきます。
- 会員歴10年以上を有している方で、新人教育プログラム未了の方は、症例検討、とトピックス、を除き他の履修単位6単位(但し、生涯学習の単位必修)にて新人教育プログラム終了となります。対象の方は、生涯学習委員会までご連絡ください。士会研修会の時には、必ず、生涯学習手帳を持参して下さい。

職能局の相談窓口

職能に対して、職能局では電話による相談を受け付けています。お気軽に何でもお尋ねください。

電話番号(0765)24 3999 FAX(0765)24 3684
魚津市健康センター 森山まで
E-mail: akira-moriyama@city.uozu.toyama.jp

その他、理学療法に対しての疑問点は、事務局で相談を受け付けています。事務局までメール等をお願いします。

情報管理部の窓口から

情報管理部では、富山県士会員の方から、士会活動の案内等、理学療法に関係があると思われる様々な記事を募集し、士会ニュース伝言板に掲載していく予定です。掲載希望の方は、富山赤十字病院 林 朝美 まで連絡をお願いします。

【連絡先】

〒939-0859 富山市牛島本町2-1-58
富山赤十字病院 リハビリテーション科
林 朝美 まで
TEL (076) 4 3 3-2 2 2 2
FAX (076) 4 3 3-2 2 7 4
E-mail
rehabili@toyama-med.jrc.or.jp

編集後記

新しい年、平成18年、戌年がはじまりました。皆さんはどんな思いを胸に、この一年のスタートをきられたのでしょうか？

そんな年明けから、もう数ヶ月が過ぎてしまいました。昨年末の大雪から、あれよあれよという間に時間が、経ってしまった方も多いのではないかと思います。時の流れにおいていかれないように、お互いがんばりましょうね。

アメリカ産牛肉の輸入再開、そしてあっという間の輸入停止。輸入牛に危険部位の脊髄がついたままだったというありさま...。堂々としたものですが、輸入に至るまでのチェック体制はいかがなものなのでしょうか？

みなさんも業務においての様々なチェック体制の再確認してみませんか？